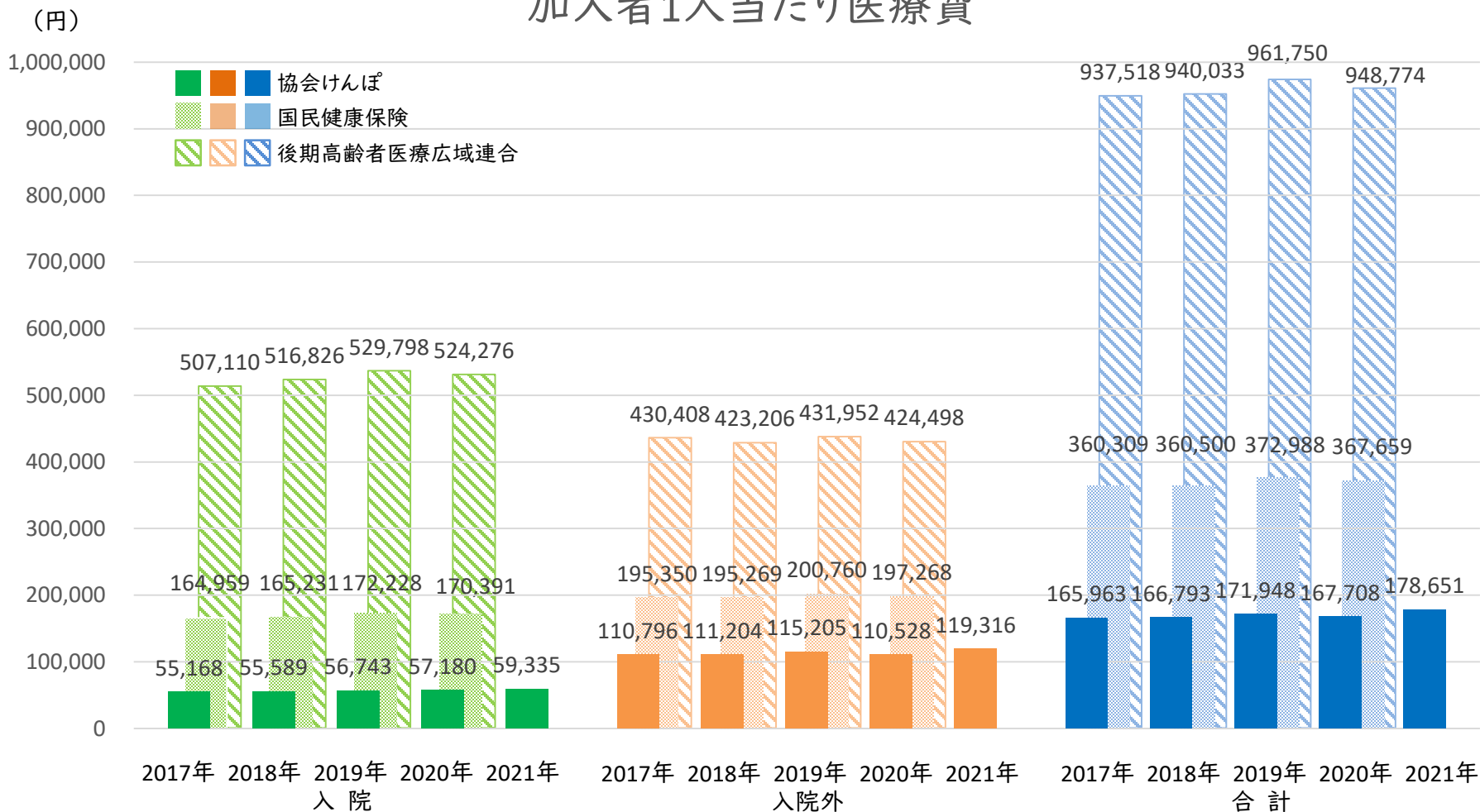


協会けんぽ徳島支部における 二次医療圏別医療費データ

医療費データ分析【協会けんぽ】（県全体）

加入者1人当たり医療費



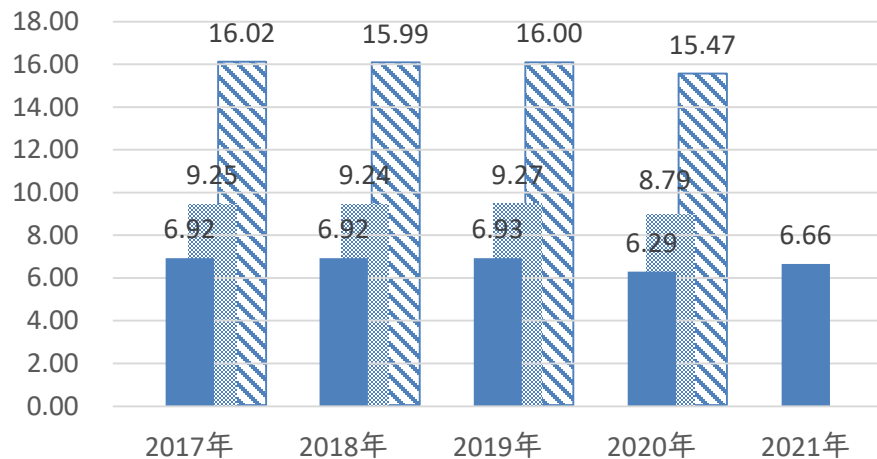
※対象者：協会加入の徳島県在住者（加入支部は問わない）。被扶養者の住所は、被保険者と同一としている。
 ※入院外には調剤分を含めている。

〈出典元：協会けんぽの都道府県支部別加入者・医療費の状況〉

医療費データ分析【協会けんぽ】（県全体）

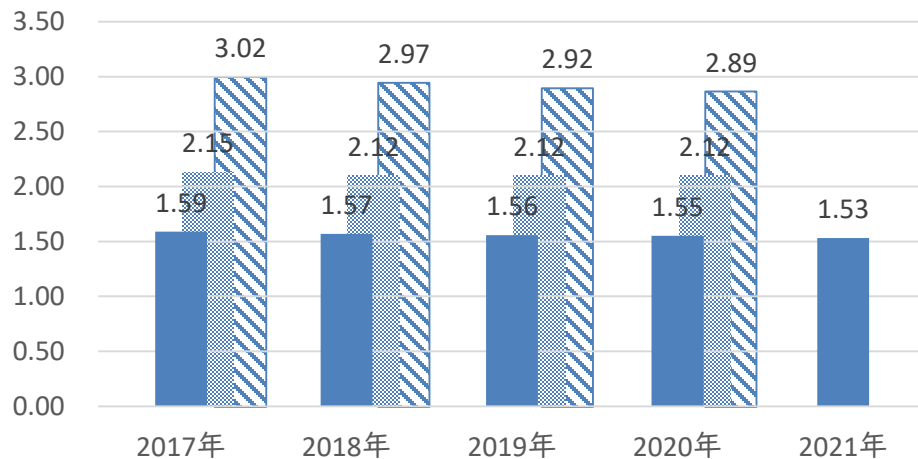
(件/人)

受診率



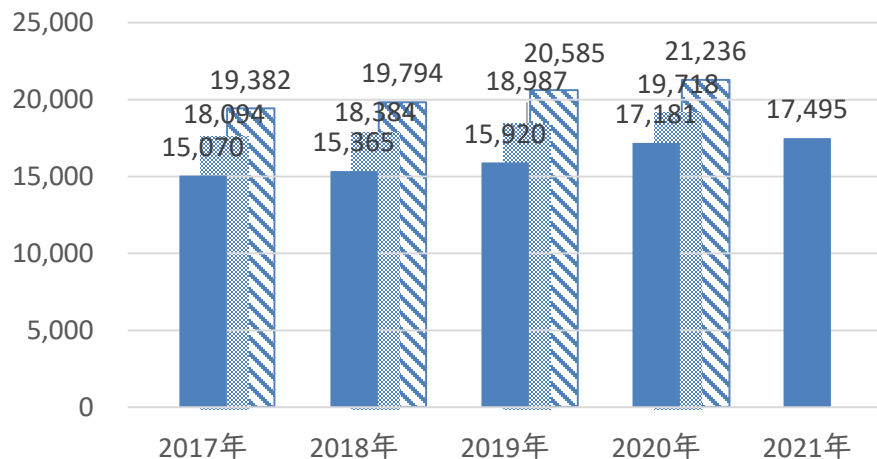
(日)

1件当たり日数



(円)

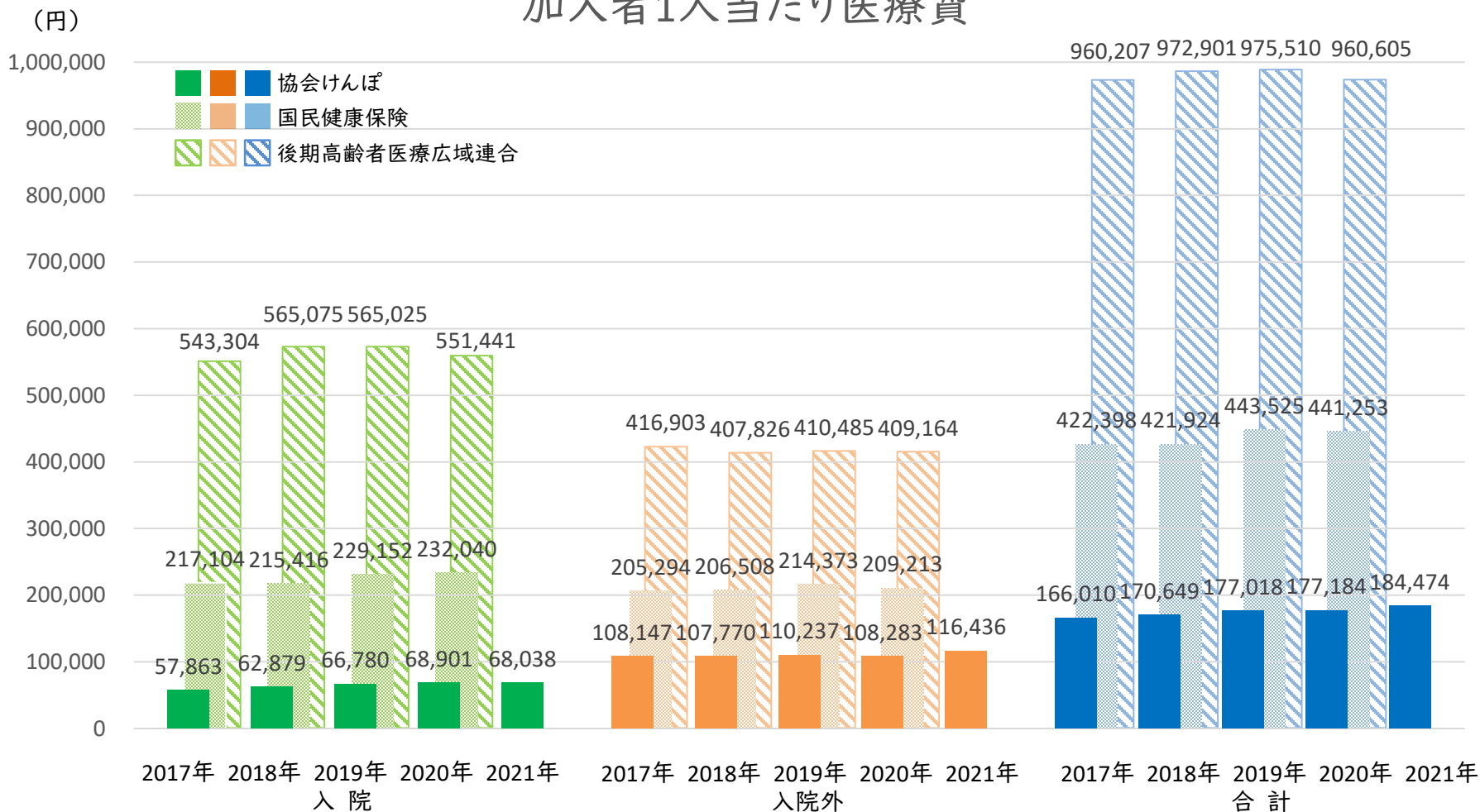
1日当たり医療費



- 協会けんぽ
- 国民健康保険
- 後期高齢者医療広域連合

医療費データ分析【協会けんぽ】（西部医療圏）

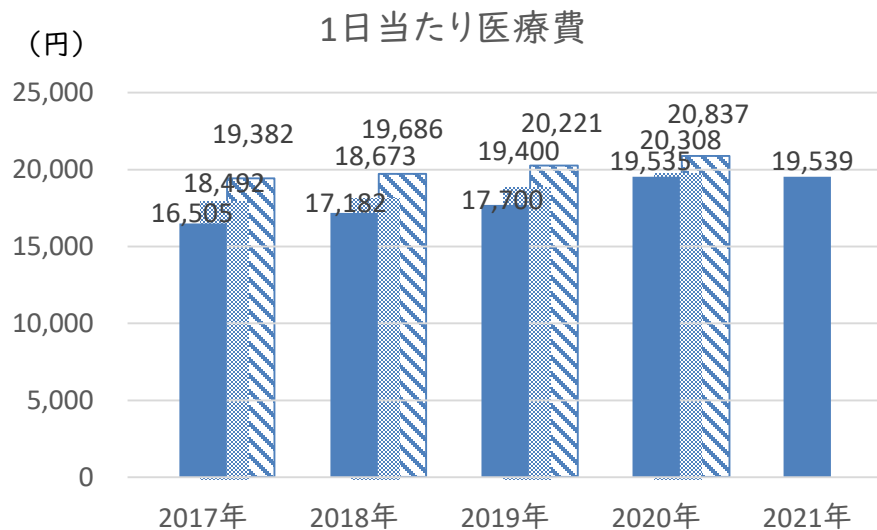
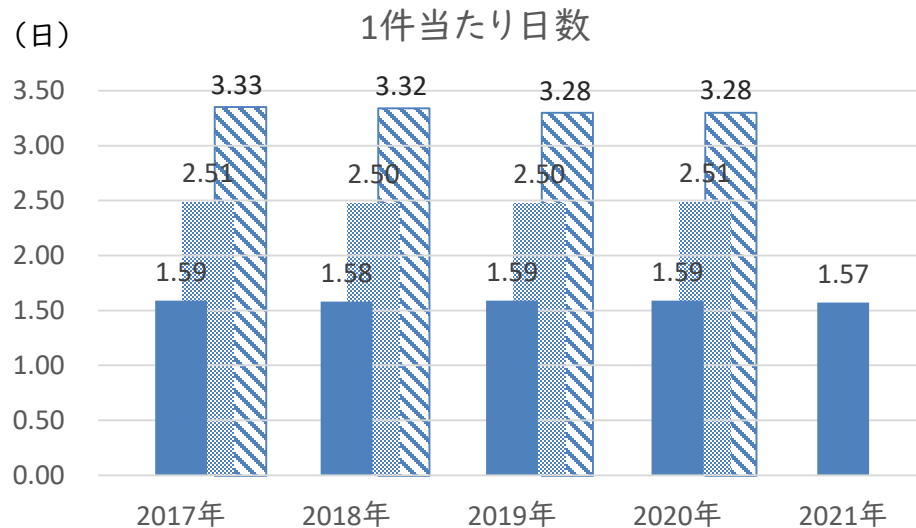
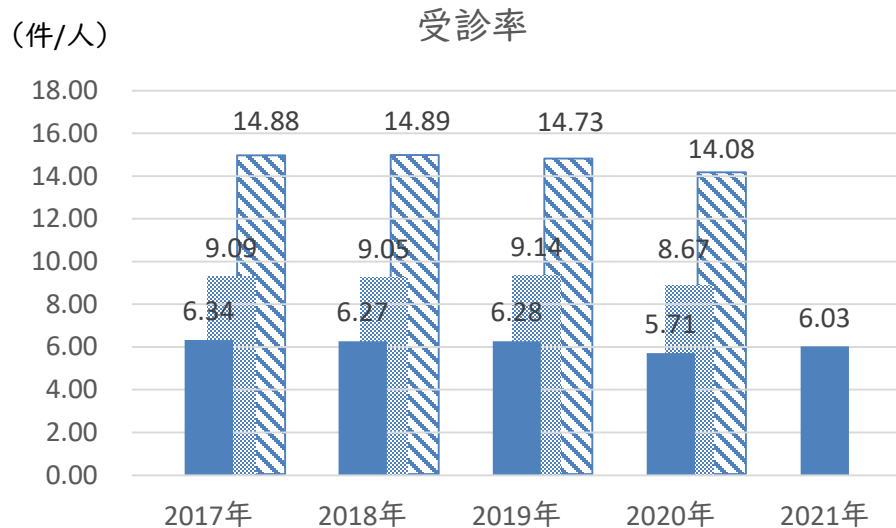
加入者1人当たり医療費



※対象者：協会加入の徳島県在住者（加入支部は問わない）。被扶養者の住所は、被保険者と同一としている。
 ※入院外には調剤分を含めている。

〈出典元：協会けんぽの都道府県支部別加入者・医療費の状況〉

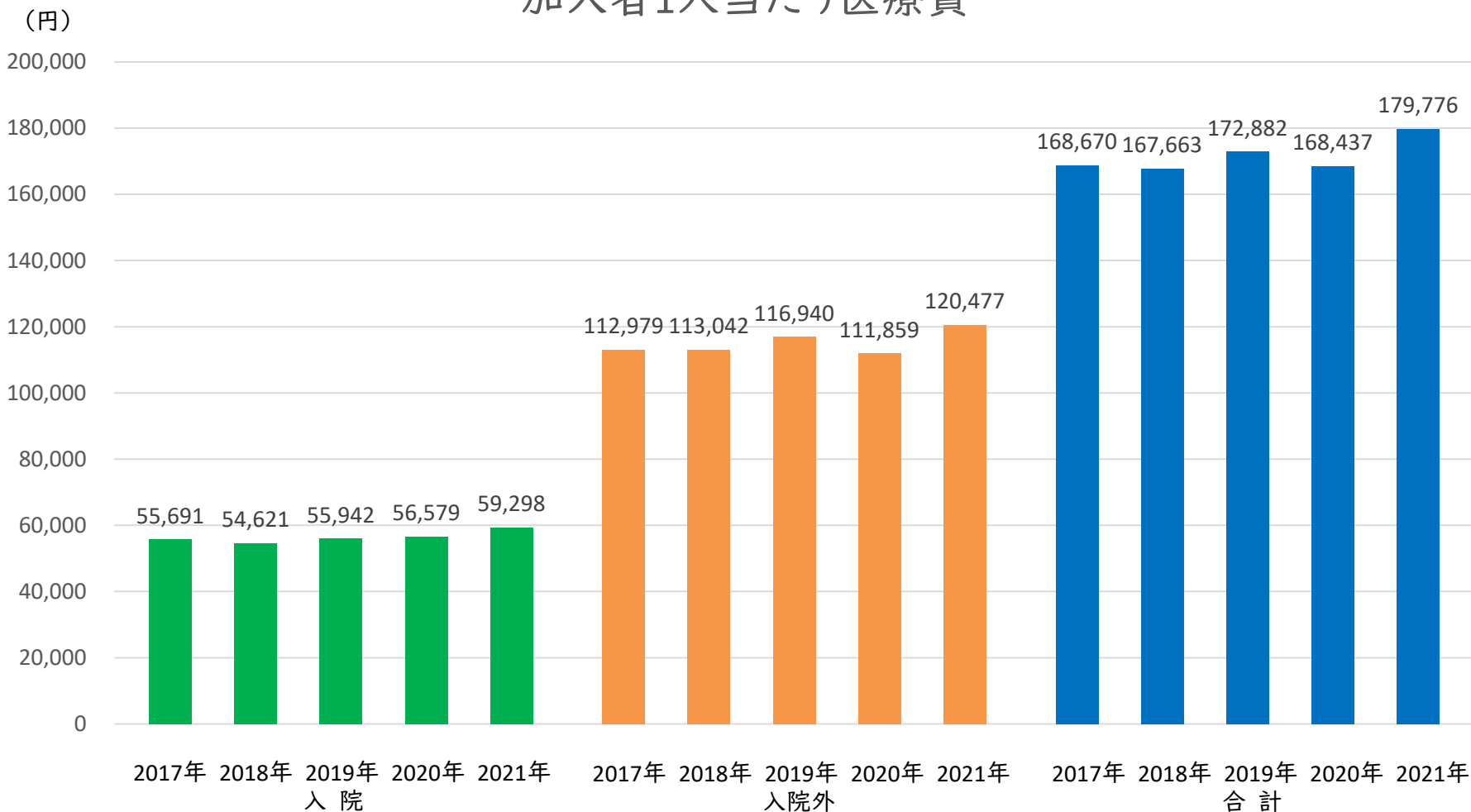
医療費データ分析【協会けんぽ】（西部医療圏）



- 協会けんぽ
- 国民健康保険
- 後期高齢者医療広域連合

医療費データ分析【協会けんぽ】（東部医療圏）

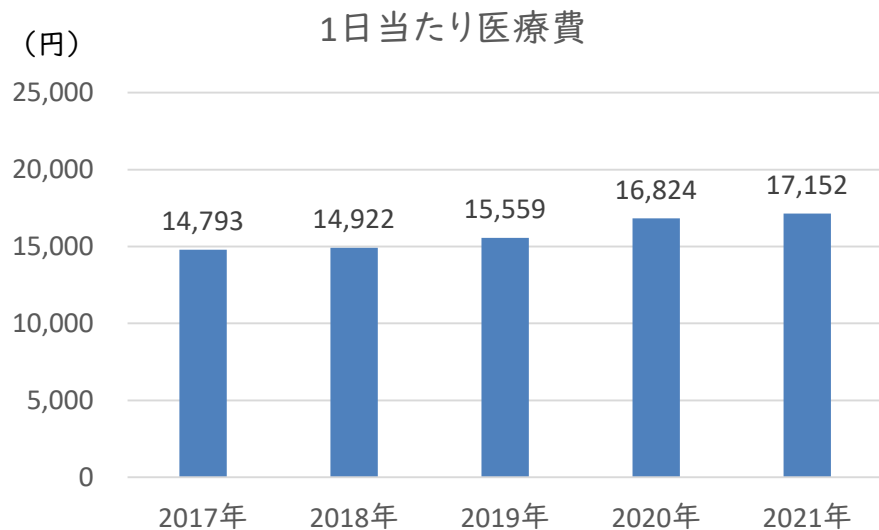
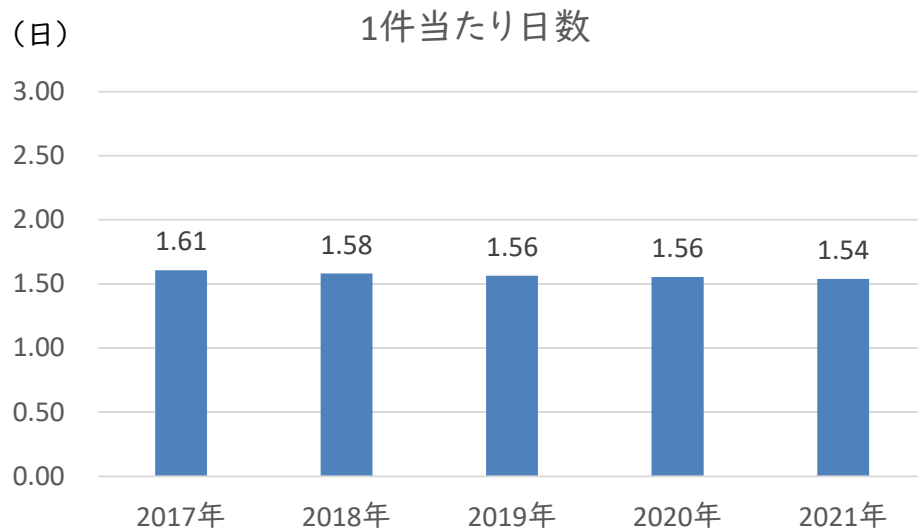
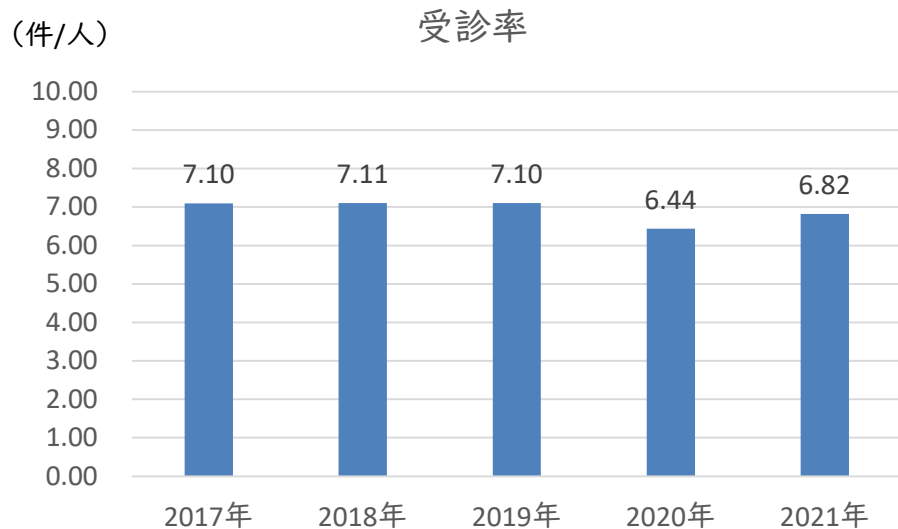
加入者1人当たり医療費



※対象者：協会加入の徳島県在住者（加入支部は問わない）。被扶養者の住所は、被保険者と同一としている。
※入院外には調剤分を含めている。

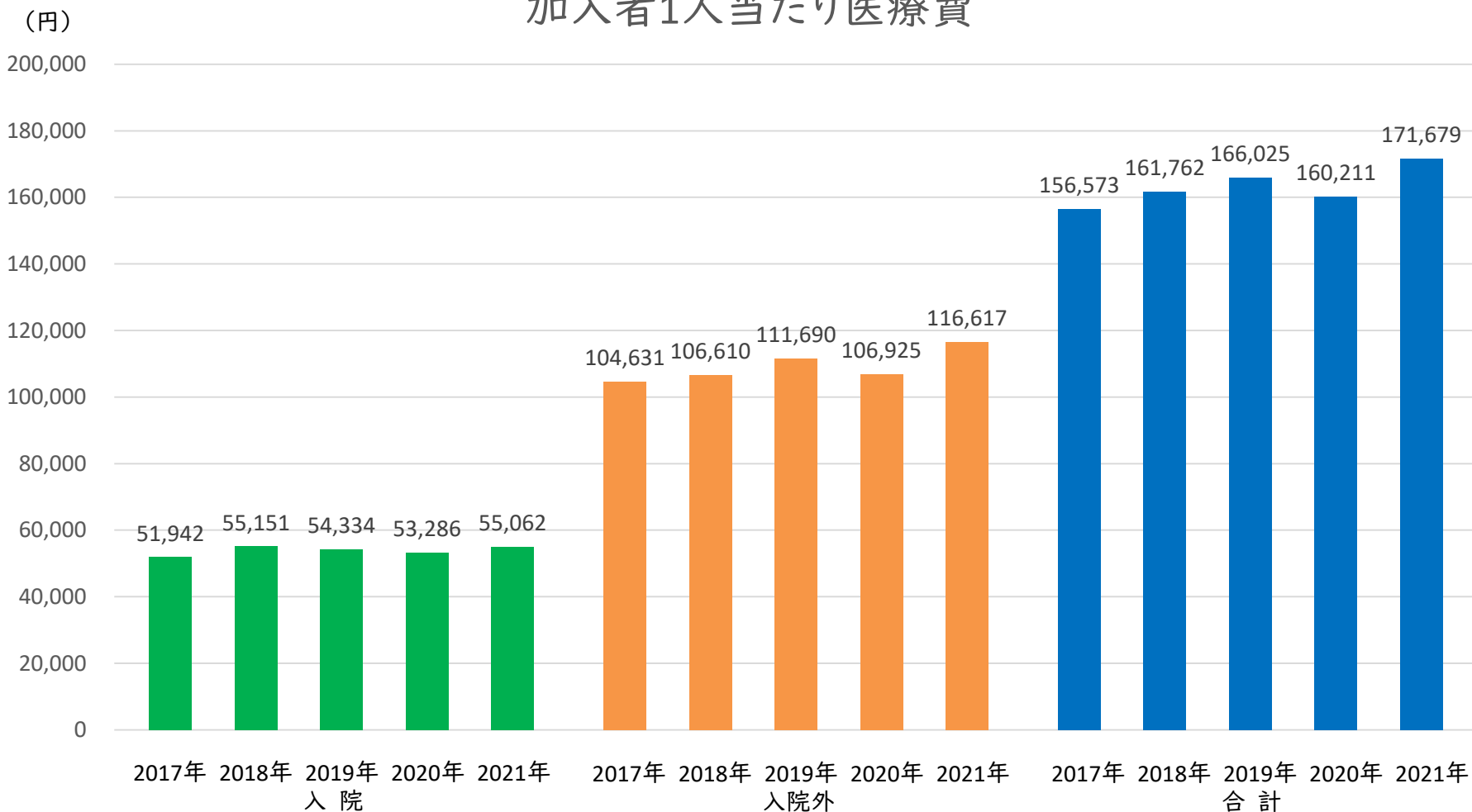
〈出典元：協会けんぽの都道府県支部別加入者・医療費の状況〉

医療費データ分析【協会けんぽ】（東部医療圏）



医療費データ分析【協会けんぽ】（南部医療圏）

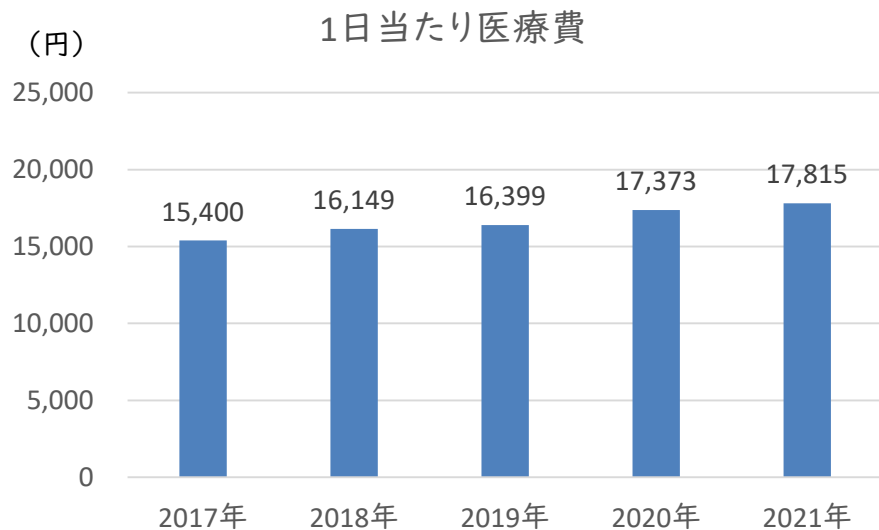
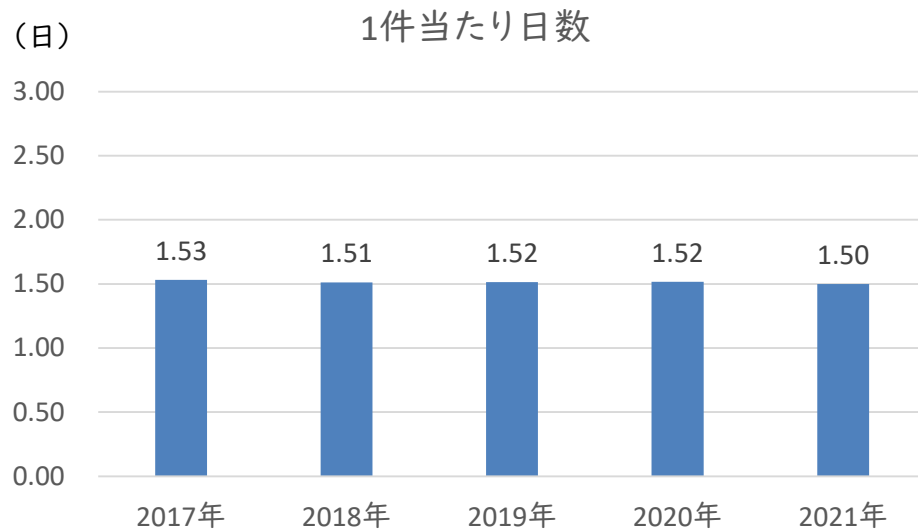
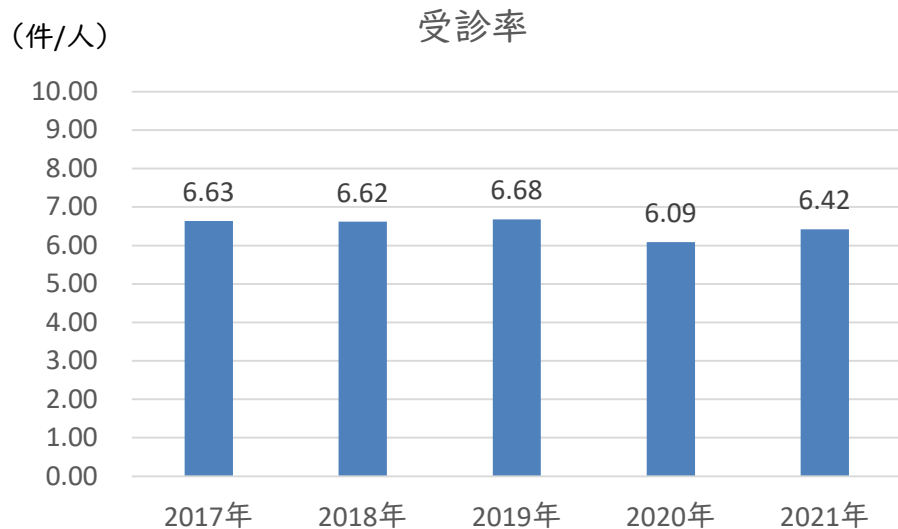
加入者1人当たり医療費



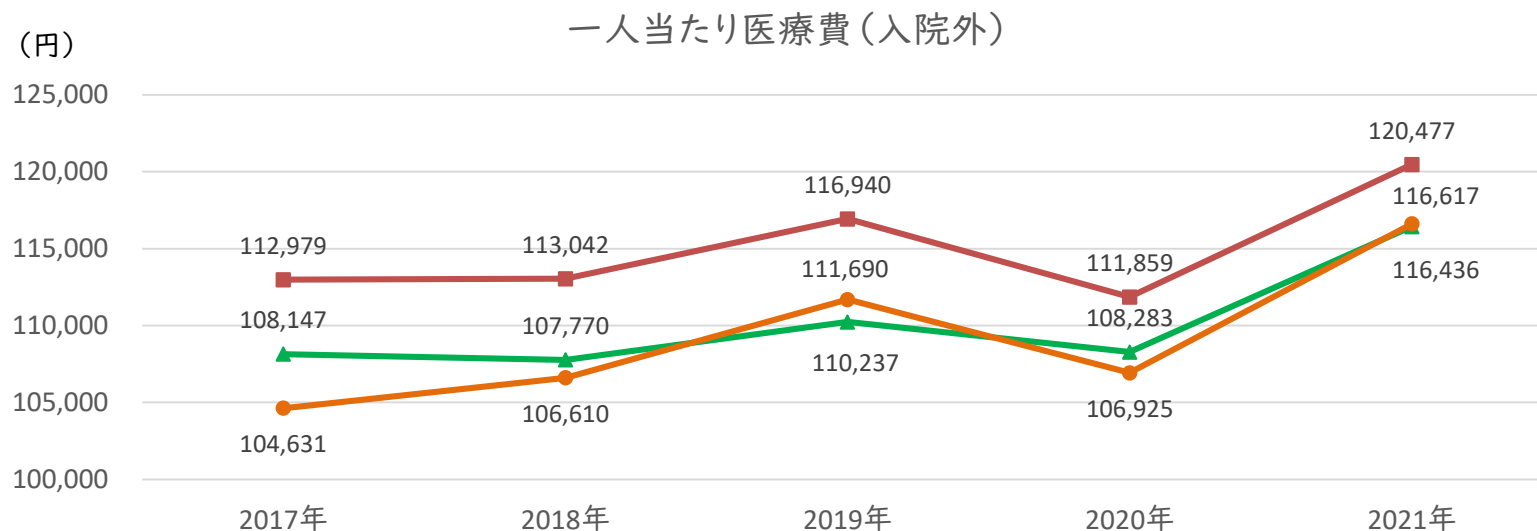
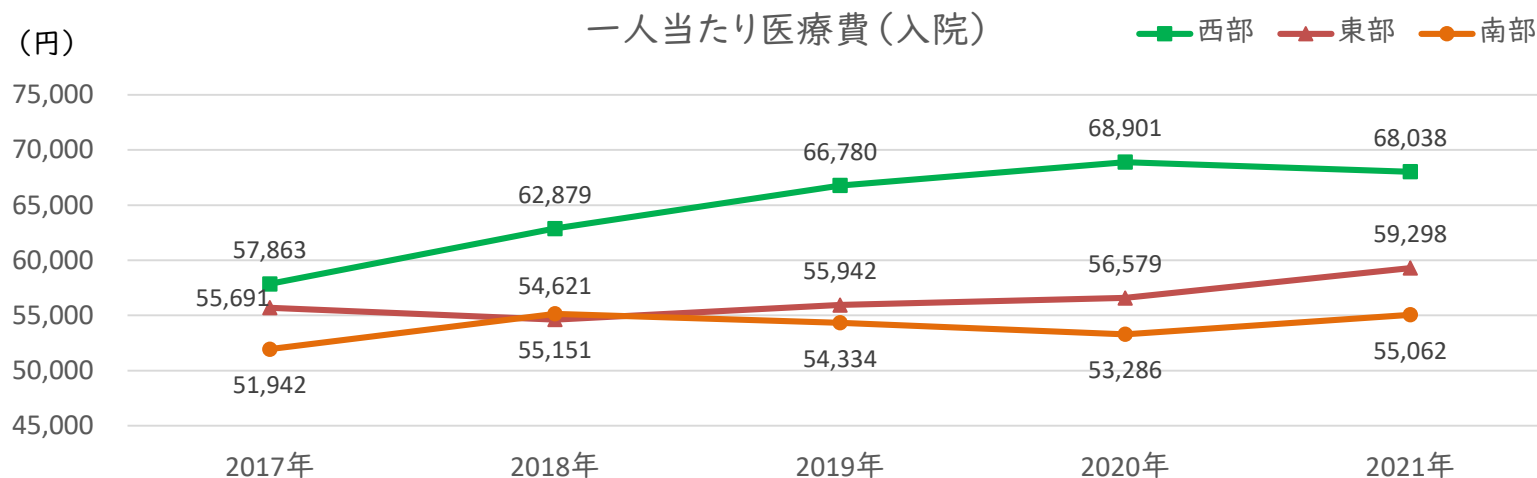
※対象者：協会加入の徳島県在住者（加入支部は問わない）。被扶養者の住所は、被保険者と同一としている。
※入院外には調剤分を含めている。

〈出典元：協会けんぽの都道府県支部別加入者・医療費の状況〉

医療費データ分析【協会けんぽ】（南部医療圏）



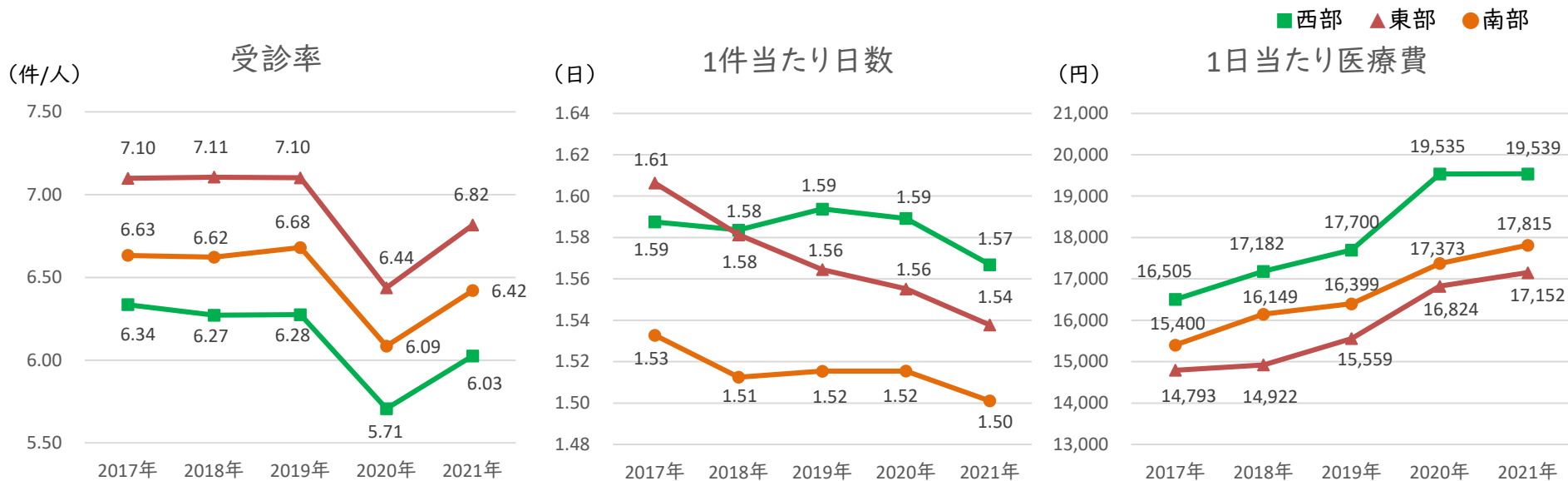
医療費データ分析【協会けんぽ】（医療圏別）



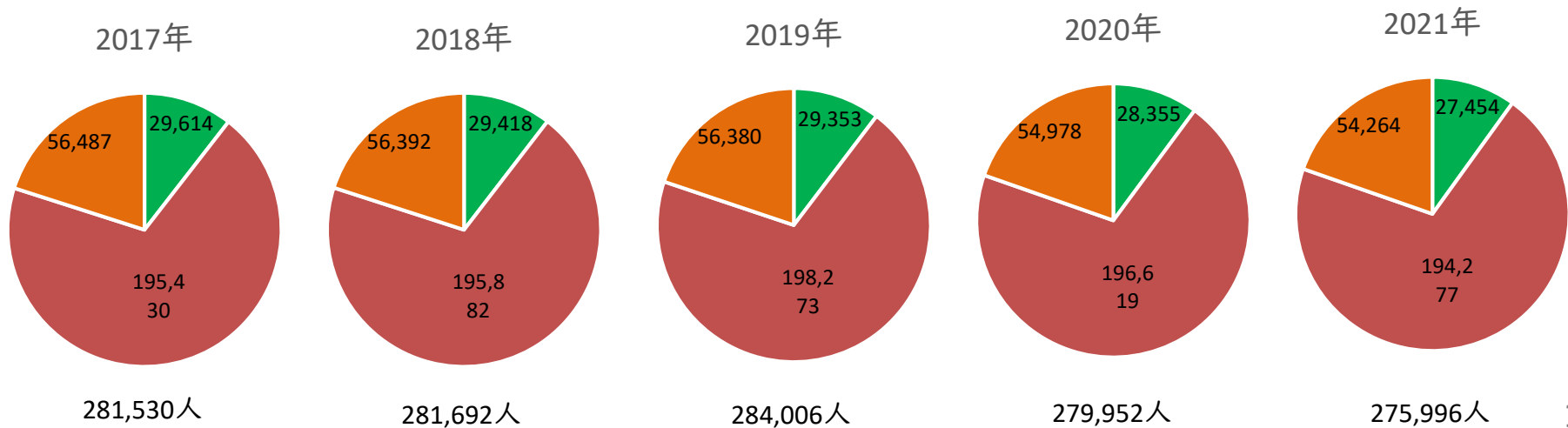
※対象者：協会加入の徳島県在住者（加入支部は問わない）。被扶養者の住所は、被保険者と同一としている。
 ※入院外には調剤分を含めている。

〈出典元：協会けんぽの都道府県支部別加入者・医療費の状況〉

医療費データ分析【協会けんぽ】（医療圏別）



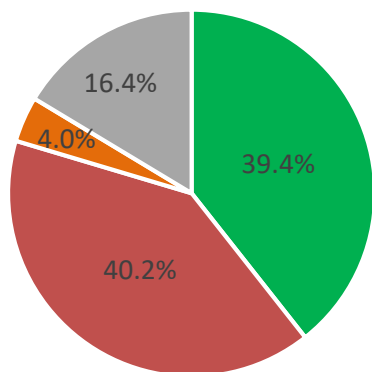
(年度別平均加入者数) ※平均加入者数のため合計人数とは一致しない。



医療費データ分析【協会けんぽ】（医療圏別）

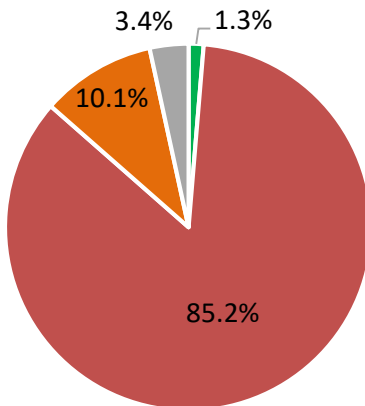
（各医療圏居住者別 医療機関受診地の状況_2021年度） ※端数処理の都合上、合計が100%とはならない。

西部（入院）



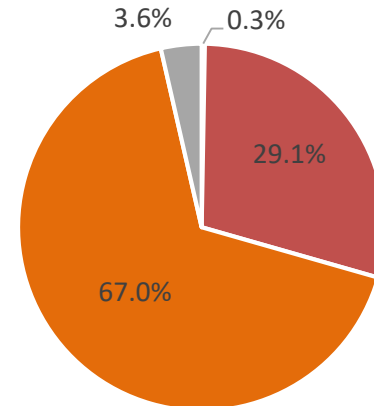
■西部 ■東部 ■南部 ■他都道府県

東部（入院）



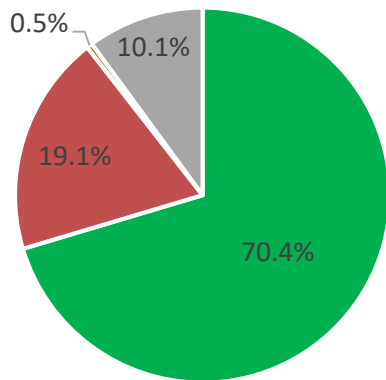
■西部 ■東部 ■南部 ■他都道府県

南部（入院）



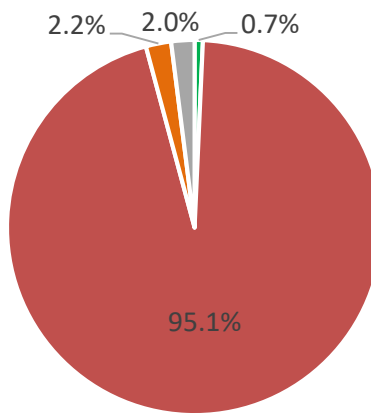
■西部 ■東部 ■南部 ■他都道府県

西部（入院外）



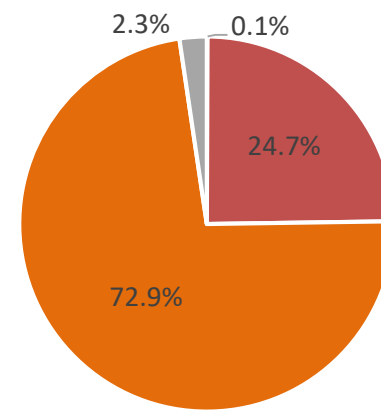
■西部 ■東部 ■南部 ■他都道府県

東部（入院外）



■西部 ■東部 ■南部 ■他都道府県

南部（入院外）



■西部 ■東部 ■南部 ■他都道府県

資料参照上の留意点

- 本資料は、徳島県保健福祉部医療政策課が作成した「医療機関の2025年対応方針の検討に係る参考資料について(西部医療圏)」のP.37～P.44医療費分析データを参考に協会けんぽ版を作成したものである。
- 協会けんぽ加入者は0歳から74歳までの被保険者・被扶養者の合算で約28万人と徳島県人口の約40%が加入する最大保険者であり、本資料は、上記加入者の各年のデータに基づき算出したものである。
- 県全体(P.1～P.2)と西部医療圏(P.3～P.4)の分析ページにおいては、国民健康保険、後期高齢者医療広域連合のデータも活用し、保険者間の比較が可能としている。(ただし、年齢調整は行っていない。)
- 協会けんぽは県内二次医療圏(東部・南部)のデータも保有しているため、本資料作成に合わせて、東部医療圏(P.5～P.6)、南部医療圏(P.7～P.8)も追加作成を行っている。
- P.9～P.10においては、協会けんぽのみのデータを使用しているが、西部・東部・南部の医療費、3要素分解の比較も行っている。
- P.11においては、西部・東部・南部の居住者別診療種別医療機関受診地の状況をグラフ化したものであり、各医療圏間における受診者の受診動向を示すものである。
- 本データを活用することで、各保険者の特性を把握し、今後の医療費適正化に向けた施策を連携・実施することも可能。